

京のセントラルパーク、歴史と自然のストック

京都御苑の魅力を発信

京都御苑



NEWS

Kyoto Gyoen
National Garden
News



summer

夏

第138号
2018.6.1

京都御苑ニュース

CONTENTS

- ▶江戸から明治へ京都御所と御苑の歴史を綴る
- ▶なぜ私たちは生きものを見るのだろうか
- ▶苑内利用者の声
- ▶学生コラム ー同志社大学ー
- ▶Information



江戸から明治へ京都御所と御苑の歴史を綴る（後編）

春号では京都大学人文科学研究所長の高木博志教授に、江戸期における朝廷と幕府との関係や御所一帯が既に京都観光の地になっていたことなどを述べていただいた。後編では明治を迎え、天皇や公家たちとともに平安遷都以来初めて都が東京へと移ってしまった後の京都における近代化の横相、欧米列強に対抗するための日本の伝統文化を体現する場としての京都御所・御苑の変遷を描く。

高木博志

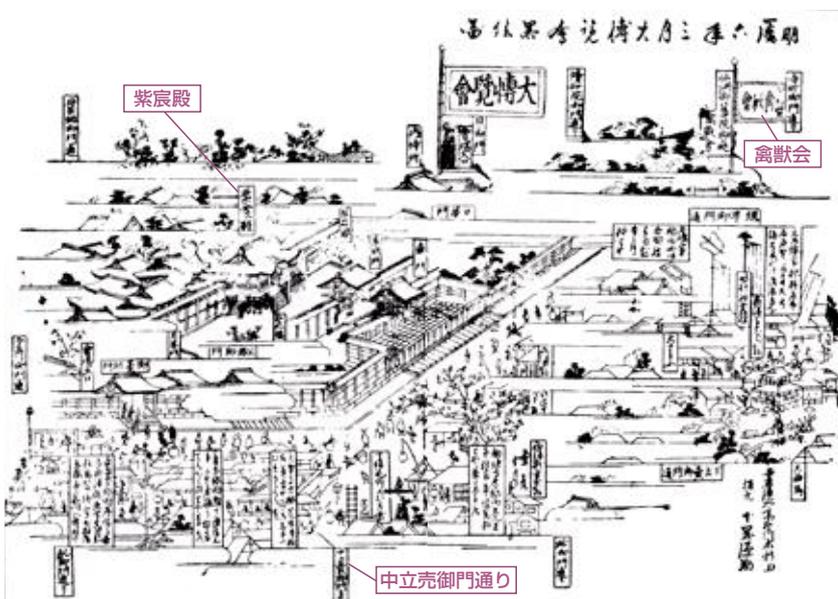
現在の京都御所と御苑は、平安時代からあるわけではなく、かつての政治の中心であった大内裏は千本丸太町周辺にあった。しかし、あたかも紫式部や平安時代の天皇が、現在の地で活躍したかのような幻想がある。このように御所が近代に蘇り、京都幻想となつてゆく意味を考えたい。

一八六九（明治二）年三月の東京遷都により京都より東京へと天皇と公家たちは移動する。公家の住居であった御所周辺の烏丸・今出川・寺町・丸太町の通りに囲まれたゾーンは荒廃したが、一八七三（明治六）年の第二回京都博覧会の開催とともに、文明開化の場となつてゆく。京都の文明開化は、外国人が泊まるホテルのあった円山公園周辺と、その外国人が向かう京都御所ではじまる。円山に隣接した祇園で西洋のレ

京都御苑、九條家の遺構 拾翠亭と百日紅

ヴェーよりもしく「都をどり」が開幕し、知恩院門前には外国向けの骨董街が成立した。

一八七三年、「明治六年三月大博覧会略絵図」(御所を南西より鳥瞰)をみると、西洋各国勝景めがね(風景のぞきからくり)、大曲馬(サーカス)、時計細工、大相撲・狂言、茶店などが、旧公家屋敷を会場に行われていた。仙洞御所では「禽獸会」(動物園)の旗がはためく。御所西側の菊亭家には桜が咲き誇り、中立売御門を入ると、江戸時代以来の檜垣茶屋が健在である。



「明治6年3月大博覧会略絵図」(高木博志他編『近代京都研究』思文閣出版、2008)

このように開化の博覧会場として、仙洞御所や公家町は活用された。なぜなら、江戸時代以来、御所が観光の場であった性格とその記憶を継承するためであった。しかし一八七七(明治一〇)年の明治天皇の行幸時に御所は滞在地となり、天皇は御所や畿内の古社寺の荒廃を嘆き、その保存事業が始まってゆく。明治初年には葵祭や石清水放生会が途絶え、廃仏毀釈で古社寺が疲弊したが、ここに極端な開化状況への反省が起きてくる。

一八八〇年代には、一転して御所や御苑の文化的な「伝統」保存が、欧米の「一等国」に伍すための国家戦略に位置づいてゆく。たとえばロマノフ家のロシアは、首都を西欧に開かれたペテルスブルグにおきながら、戴冠式ではわざわざ古都モスクワに移動し、ロシア正教の独自の伝統文化のなかで挙行した。ロシア、オーストリア、イギリスなどの「一等国」の君主制は、それぞれ独自の文化的伝統をもち「ロシアらしさ」「オーストリアらしさ」を競いあっていた。かくして一八八三(明治一六)年一月の岩倉具視建議において、今後、東京から京都へ移動して即位・大嘗祭を行うことや、桓武天皇をまつる平安神宮の創建、葵祭・石清水放生会の復活など、総合的な京都復興策が打ち立てられることとなった。日本が「一等国」になるためには、憲法・軍隊・地方自治・教育などの近代/文明の欧米と共通する制度だけではだめで、同時に日本独自の文化や歴史を国際社会に打ち出す必要に気付いた。京都で言えば、まず御苑が、「京都らしい」伝統文化として、四囲に石塁が築かれ、松桜楓が植栽され、建礼門から南へ大通りが整備された。一八九〇年代には古社寺の宝物調査と国宝指定がなされ、一八九七年に開館する京都帝國博物館は貴族文化や桃山文化に特色ある展示が行われた。一八九五(明治二八)年の第四回内国博覧会と引き、平安神宮が鴨東の地に平安時代幻想をもって創建された。

かくして明治初年に御所周辺で博覧会を開催した活気ある場は、二十世紀には鴨東の岡崎の地にその機能を移した。御所と御苑は、創りだされた京都と日本の文化を体現する場へと変容してゆくのである。

(京都大学人文科学研究所所長)

自然・いのちのつながり なぜ私たちは 生きものを見るのだろうか

河合嗣生



旬の味覚 クローバーの花の蜜を吸い、花びらを食べる(ヒヨドリ)

に暮らせないという思考が蔓延しているように感じます。そのような中、野生の生きもの達は厳しい雪の日も暑い夏の日も元気に過ごしています。もちろん虫や鳥達はお金など必要としていませんが、この自然環境がないと生きてゆけないことは事実です。私たちが命を維持するために絶対的に必要とする水や作物は、雪や雨がないと得ることができません。私たち人間も、生きものである以上、豊かな自然環境があつてこそ毎日の豊かな暮らしと楽しみを得ることができるのだと思います。

近年、研究者のご努力で新し

今年の冬は雪の話題を多く耳にしました。そのような時、新潟の豪雪地帯に暮らす方に教えていただいた「ここのお米がおいしいのは、たくさん雪解け水が雑木林からたっぷりと栄養分を運んでくれるから」という話を思い出します。ですから障害物が天から降って来たとしても言いたげな雪のニュースには大変に違和感を覚え、特に市街地での都市機能と人間の精神的な脆弱さを感じずにはいられません。



仲間と鳴き交わしながら森を移動する(エナガ)

今、私たちの周りでは自然環境も大切だが、それよりもお金がないと生きてゆけない・豊か

学生コラム

廬山寺

同志社大学文学部文化史学科4回生
小林丈広ゼミ 瀧沢 麻里子

私は京都御苑の東側に位置する紫式部の邸宅跡としても有名な廬山寺（正式名称・天台圓浄宗大本山 廬山天台講寺）を訪れました。当寺は古くから皇室との関係が大変深く、また以前ボランティアをさせていただいたご縁から取材しました。この日はあいにくの雨でしたが、江戸時代に仙洞御所から一部を移築した本堂は黒光りする床が美しく、そこから眺めることのできる源氏の庭では、桔梗をはじめ竜胆や紅葉など様々な植物が植えられ季節の移ろいを楽しむことができます。京都古文化保存協会による非公開文化財特別公開の際には、御本尊様や普段は公開されていない数多くの貴重な文化財を間近でご覧いただけます。京都御苑を訪れた際には、ぜひ廬山寺まで足を伸ばしてみてください。



御所「車返桜」前で記念写真

京都御苑の苑内を「車椅子」で散策するお手伝いを始めて二〇〇回（二〇一八年四月現在）になります。主に春の梅、桃、桜のお花見と新緑の散策、そして、秋の紅葉狩り。また、「閑院宮邸跡収納展示館」や「京都御所」の見学も行っています。常連の方からは「次は夏の木陰で涼ん

でみたい、御所の冬の空気を体感したい」とのご要望が出ることもあります。

京都御苑には車椅子対応の「トイレ」や「歩道」が整備されている（苑内西側）ユニバーサルコースがあります。車椅子を「移動ベンチ」にして、自然に身を包まれながらそのコースを巡り、様々な生き物を「五感」で感じる非日常の散策は、なにより心身リフレッシュになると思います。

ご高齢の方、入院中の患者さん、施設入居者の方などの個人参加、また、デイサービスや各種の施設からの外出リクレーションとして十数人での申し込みもあります。車椅子介助の職員数が足りない時は、介護職有資格者の友人達が駆けつけてくれ

ます。同伴のご参加は主にご夫婦や親子連れですが、お孫さんやご友人、ヘルパーさんや看護師さん、教会のシスターさんが同行されたこともあります。

「諦めていた外出」を叶えるお手伝い、一人が一人を支援する活動の輪が広がればと願っています。

介護福祉士・認定トラベルヘルパー（外出支援専門員）

■京都御苑「車椅子」自然観察会
毎月一回 無料
お知らせ：京都新聞 福祉欄
「ふれあい広場」に掲載（予定）



可愛い花が咲く風の若葉の下で



何を言ってるの？（ヤマガラ）

い発見が伝えられています。それは世界のどこかで新種が発見されたということばかりではなく、ごく身近な生きもののことでもあります。今年一月にシジュウカラに文章を作る能力があることが新聞に報じられました。私たちはフィールドワークを通して鳥たちが会話をしていることを知っていました。ですからその研究成果は大変に興味深いものです。おそらくシジュウカラだけではなく、すべての鳥において同じ能力があるのだと思います。かつて人間は動物たちが言葉どころか感情すら持たないと考えてきました。しかし実際は、私たちが彼らの言葉を理解する術を持っていないということが正しいと思います。私たちはなぜ生きものの達を見なくなるのでしょうか？

可愛いから、それとも楽しくなるから？ 人それぞれの理由

今、生きものの達は子育てで真最中、さまざまな声で賑やかに会話をしています。皆さんもご自身が生きものの達の一員として自然のなかに生きていることを、そして豊かな自然環境があつてこそ私たちが豊かになれることを忘れないで欲しいと願います。

京都御苑の森は、不思議に満ちあふれています。この森からも新しい発見があるでしょう。その発見者は皆さんご自身、そして森で遊ぶ子ども達かも知れません。（京都自然観察学習会）



旬の味覚 葵祭の頃に発生する羽蟻を器用に集めて食べる(ハシブトガラス)

■イベントのお知らせ

京都御所の通年公開

公開日：通年(事前申し込み不要/無料)
ただし、下記は休みとなります。
月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)
行事等実施のため支障のある日

公開時間：4月～8月/9:00～17:00(入場は16:20まで)

入場門：清所門

お問合せ：宮内庁京都事務所 ☎075-211-1215

仙洞御所の参観拡充

事前申込に加えて当日受付も行われています。

お問合せ：宮内庁京都事務所 ☎075-211-1215

京都迎賓館一般公開

日本の歴史・文化を象徴する京都で、海外からの賓客をお迎えし、日本への理解と友好を深めていただくための国の迎賓施設です。

公開日：詳細は迎賓館のホームページでご確認ください。

参観料金：大人1,000～1,500円 中高生500～700円

お問合せ：迎賓館京都事務所 ☎075-223-2302
(自動音声案内)

明治維新150年記念 連続講座(事前申込制)

京都御苑やその周辺が舞台となった明治維新に関する歴史を取り上げた連続講座を開講します。

日時：6月27日(水)「公武合体政策と皇女和宮」
7月25日(水)「猿ヶ辻の変と8月18日の政変」
8月22日(水)「禁門の変はなぜ起こったのか」
13:30～(60～90分程度) 受付13:00～

場所：閑院宮邸跡収納展示館レクチャーホール

主催：環境省京都御苑管理事務所
☎075-211-6348(平日のみ、9:00～17:00)

共催：NPO法人京都観光文化を考える会・都草

京都御苑夏の自然教室

日時：平成30年7月22日(日) 9:30～12:00

受付：9:00～9:20

集合：閑院宮邸跡前(御苑南西角 地下鉄丸太町 市バス烏丸丸太町徒歩5分)

講師：京都自然観察学習会の先生方

内容：夏の御苑の植物、キノコ、昆虫や野鳥の生態を観察します。

参加費：100円(保険代)

主催：環境省京都御苑管理事務所
(一財)国民公園協会京都御苑

その他：筆記用具、雨具、水筒の準備、野外活動に適した服装でご参加ください。

*当日7:00時点で大雨、暴風警報が発令されている場合などやむなく中止する場合があります。



夏のトンボ池一般公開

普段は立入りを制限している「トンボ池」を公開します。是非お立ち寄りください。(荒天中止)

日時：平成30年8月3日(金)～5日(日)9:30～12:00

場所：京都御苑トンボ池(富小路口北東へ徒歩5分)

参加費：無料

主催：環境省京都御苑管理事務所

(一財)国民公園協会京都御苑

その他：野外活動に適した服装でご参加ください。



■苑内利用施設・サービスのご案内

閑院宮邸跡収納展示館

京都御苑南西角の旧閑院宮邸跡地に建つ公家屋敷の風格残る旧宮内省建物の遺構。収納展示室では京都御苑の歴史や自然が学べます。(無料)

●特別展示開催中～激動の幕末・維新と京都御苑の誕生～ 場所：レクチャーホール

*都合により閉室になる場合がございます。

開館時間：9:00～16:30(入場は16:00まで)

休館日：月曜日(祝日は開館)、年末年始

アクセス：間ノ町口すぐ(御苑南西角 地下鉄丸太町 市バス烏丸丸太町 徒歩5分)

拾翠亭(茶室)

五摂家の一つであった九條家の遺構で江戸時代後期に建てられた九條家別邸。

公開日：毎週木・金・土曜日、葵祭、時代祭

9:30～15:30 参観料 100円(高校生以上)

貸切利用：茶会、句会、謡曲等の会合にご利用できます。

休憩所(レストハウス・売店)

休憩やお食事・喫茶にご利用ください。京都御苑オリジナルのお土産物を多数揃えています。

営業時間：9:00～16:30

中立売南休憩所(御苑西側中立売御門南すぐ) 軽食・喫茶(ハンバーガー、ハヤシライスなど)。

中立売南休憩所+PLUS(南休憩所に隣接) 食堂(各種定食など)、売店(京みやげ)。

●京都五山送り火 延長営業

京都五山送り火の8月16日(木)は、中立売南休憩所、南休憩所+PLUSとも21:00まで延長営業致します。京都御苑から眺める大文字送り火をお楽しみください。



明治150年記念純米酒「東幸之盃」と「大札之盃」のアソート

「南休憩所+PLUS」店内 京都市立芸大とのアートコラボによる内装

—中立売地区再整備工事のお知らせ—

新休憩所の竣工は2018年12月頃の予定です。オープンまでの間、御苑利用者の皆様方には大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いたします。

富小路休憩所(御苑南東富小路口すぐ、テニスコート隣接) 軽食・喫茶、菓子等の販売。

駐車場

料金：乗用車500円 バス1,300円(最初の3時間)

中立売御門西駐車場(乗用車、バス)

入場 7:40～19:30 出場 24時間

—中立売御門西駐車場出入口変更のお知らせ—

再整備工事に伴い、駐車場出入口を中立売御門から蛤御門に変更(2019年1月初旬頃までの予定)。進入は、烏丸通を南下して左折のみとなります。

清和院御門東駐車場(乗用車専用)

入・出場 8:40～20:00(20:00以降閉鎖)

運動施設

富小路テニスコート(5面) 有料

富小路広場(6面)／今出川広場(3面) 有料

軟式野球・ソフトボールなどにご利用ください。

申し込み：国民公園協会京都御苑



会員募集(2018年度)のお知らせ

2018年度(2018年1月～12月)の国民公園協会京都御苑会員を募集します。

■年会費

●普通会員……………1,000円以上

●賛助会員(会社・団体)……………10,000円以上

■会員特典

- 1 京都御苑ニュースの送付
- 2 葵祭及び時代祭の観覧席招待券の進呈(ただし普通会員は会費4,000円以上の方に限ります。)

■申し込み・お問合せ先

(一財)国民公園協会京都御苑



編集後記

明治150年に当たり、京大人文研の高木教授に前号に続いて江戸から明治への京都御所・御苑の変遷について御執筆いただいた。大きな歴史のうねりを受けて、深い森とともに人々の憩いの場として今の御苑はある。(発行人 池田善一)

企画・発行/お問合せ先

一般財団法人 国民公園協会 京都御苑
〒602-0881 京都市上京区京都御苑3
TEL 075-211-6364

編集

白川書院

監修

環境省京都御苑管理事務所

